

科目名	情報処理基礎Ⅱ Fundamentals of Information Processing Ⅱ			担当教員	重田 和弘			
学年	2年	学期	通年	履修条件	必修	単位数	2	
分野	専門	授業形式	講義・実習	科目番号	15132007	単位区分	履修単位	
学習目標	1. C言語を用いたプログラミングの基礎を習得する。 2. コンピュータとインターネットを利用するうえでのルールとマナーを理解する。							
進め方	プログラミングの説明と実習を交互に行い授業を進める。実習では、4～6時間程度で自主的にプログラミングを行う機会を設け、作成したプログラムについて報告書を提出させる。							
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標				
	1. ガイダンス(1) 2. コンピュータを利用するうえでのルールとマナー(2) 3. プログラムの作成方法(5) 4. 入出力と演算(6) [前期中間試験](2)			<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータとインターネットを利用するうえでのルールとマナーを理解できる。 ・プログラム開発環境の操作方法を理解し、簡単なプログラムを作成できる。 ・入出力処理と演算を用いた簡単なプログラムを作成できる。 (B-1)				
	試験返却・解説(1) 5. 分岐と繰り返し(13) (1) if-else文 (2) for文			<ul style="list-style-type: none"> ・if-else文, for文を用いた簡単なプログラムを作成できる。 ・分岐と繰り返し処理を含む簡単なフローチャートを書き、そのプログラムを作成することができる。 (B-1)				
	前期末試験			(B-1)				
	試験返却・解説(1) 5. 分岐と繰り返し(つづき)(3) (3)While文 (4)do-while文 (5)switch文 6. 総合演習Ⅰ(4) 7. 配列(6) (1)一次元配列 (2)多次元配列 [後期中間試験](2)			<ul style="list-style-type: none"> ・while文, do-while文, switch文を用いた簡単なプログラムを作成できる。 ・分岐と繰り返し処理を用いたプログラムが作成できる。 ・一次元配列を用いたプログラムを作成できる。 ・多次元配列(3次元以下)を用いたプログラムを作成できる。 ・配列を用いて、ソートプログラムを作成できる。 (B-1)				
	試験返却・解説(1) 8. 文字列(3) 9. 総合演習Ⅱ(6) 10. まとめ(4) 後期末試験			<ul style="list-style-type: none"> ・文字列の入出力処理を行う簡単なプログラムを作成できる。 ・代表的な文字列関数を使用して、文字列処理を行う簡単なプログラムを作成できる。 ・分岐、繰り返し処理、配列・文字列処理を用いたプログラムが作成できる。 (B-1)				
	試験返却・解説(1)			(B-1)				
	評価方法	評価の内訳は、定期試験の成績を70%、プログラミング実習(レポートを含む)の成績を30%とする。						
	履修要件	特になし						
	関連科目	情報処理基礎Ⅰ(1年) → 情報処理基礎Ⅱ(2年) → 情報処理基礎Ⅲ(3年)						
教材	教科書: 黒瀬能幸, 福田之介, 「やさしく学べるC言語」, 森北出版							
備考								